

さんじょう 市議会 だより

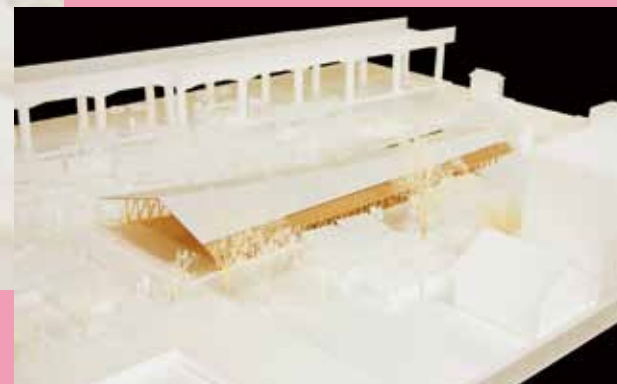
SANJO SHIGIKAI DAYORI

市民と議会を結ぶ架け橋

2.1

No.15
2015/H27

完成が待たれる
全天候型広場(仮称)



スマートウェルネスの取り組みの一環として、
元町地内の三条学校給食共同調理場跡地で整備が進められています。

議会を傍聴しませんか？

次の定例会の
開催予定は

3/2月～

主な内容

《平成26年12月定例会(12月2日～16日)》

●議案賛否一覧……………P2

《市政を問う》

●大綱質疑……………P4

●一般質問……………P7

●委員会審査レポート……………P13

《ぎいん見聞録》

●行政視察報告……………P14

議会だよりへのご意見・ご要望は、こちらまで。

電話:0256-34-5511(内線347) FAX:0256-33-8861

メール:gikaij@city.sanjo.niigata.jp

パソコンでも情報発信中!

三条市議会

検索





全議案原案のとおり決定

12月定例会は、12月2日から16日までの15日間にわたって開かれました。

市長提出議案は、「人権擁護委員候補者の推薦」の人事案件、「三条市議会の議決に付すべき事件を定める条例の制定」などの条例案件、「須頃・大島統合保育所建設建築本体内工事」などの工事請負契約の締結、「三条市のづくり拠点施設」などの指定管理者の指定、新最終処分場の整備に係る地質調査および用地測量委託料などを盛り込んだ「平成26年度三条市一般会計補正予算」約4億6500万円など22件が上程されました。

人権擁護委員候補者の推薦は、初日に採決の結果同意され、その他の議案は各常任委員会と議会運営委員会での審査を経て、最終日の採決の結果、全て原案のとおり可決、同意または承認されました。

このほか請願の採択に伴う「JAグループの自己改革の実現に向けた意見書」を関係行政に対し、送付しました。

議案賛否一覧表

○:議案に対して賛成 ×:議案に対して反対

Table with columns: 議案 (議案番号, 件名, 概要), 会派名 (下段は所属議員数), 自由クラブ, 新しい風, 自民クラブ, 日本共産党議員団, 新緑クラブ, 無所属, 議決結果. Rows include items like 三條市立保育所条例の一部改正について, 三條市国民健康保険条例の一部改正について, etc.

※1 久住久俊議員は欠席



Table with columns: 議案 (議案番号, 件名, 概要), 会派名 (下段は所属議員数), 自由クラブ, 新しい風, 自民クラブ, 日本共産党議員団, 新緑クラブ, 無所属, 議決結果. Rows include items like 三條市議会の議決に付すべき事件を定める条例の制定について, 三條市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について, etc.

3 ページへ続く

討論



日本共産党議員団
議第3号三条市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について
 現状ではA、B、C型それぞれの小規模事業は行われていないというところであるが、参入の道が開かれている以上今後のことも考え保育の質を担保するべきで、現状より後退する基準設定にはならない。また、高層階での保育施設設置は安全上心配であり反対。
議第6号三条市地域包括支援センターの人員等に関する基準を定める条例の制定について
 地域包括支援センターは、介護保険法で「市町村が設置主体となり、保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員等を配置して、3職種のチームアプローチにより住民の健康の保持、生活の安定のために必要な援助を行う」とこととされている。
 しかし、栄地区の現状は3職種のうち必要な援助を言いながら2人体制だ。現状を改善せず、さらに削減することは業務低下につながる。また、この条例が制定されると下田地域は3人から2人へ減員となる。管轄地域の面積の広さ、豪雪地帯という特殊性もあり、サービスの後退が懸念されることから反対。

会派所属議員

自由クラブ	○久住 久俊 武石 栄二	佐藤 和雄 森山 昭	下村 喜作 野崎 久雄	阿部銀次郎	熊倉 均
新しい風	○名古屋 豊 河原井拓也	杉井 旬	岡田 竜一	藤田 博史	酒井 健
自民クラブ	○西川 重則	横山 一雄	佐藤 宗司	山田 富義	
日本共産党議員団	○小林 誠	武藤 元美	坂井 良永		
公明党議員団	○野崎 正志	笹川 信子			
新政クラブ	○高坂登志郎	長橋 一弘			
無所属	伊藤 得三				

※○：会派の代表者

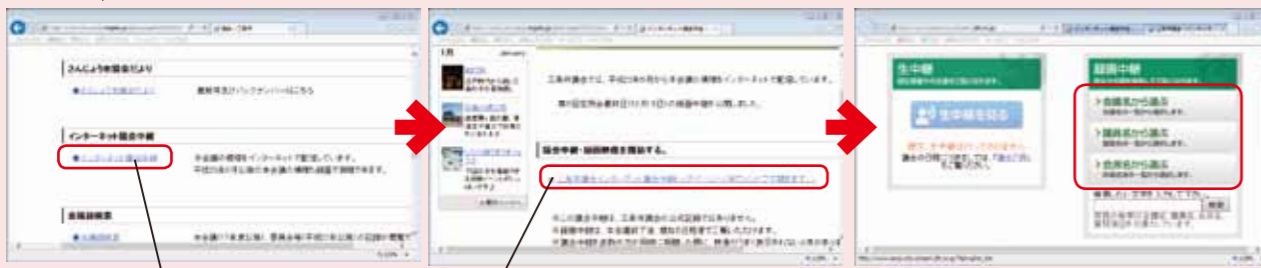


インターネットで市議会の模様を配信しています

定例会や臨時会の本会議の様子は、録画中継でご覧いただけます。
 なお、録画中継は正式な会議録の公開前に、本会議での議員や市長等の発言を動画で配信するものです。

視聴方法

三条市ホームページの **市議会のページへ** をクリック
 (三条市ホームページのアドレスは <http://www.city.sanjo.niigata.jp/> です。)



さらに **インターネット 議会中継** **三条市議会インターネット議会中継トップページへ** をクリック

視聴したい会議を検索してご覧ください。(検索は会議名、議員名、会派から選ぶことができます。)

市政の？を
問いました



大綱質疑

12月定例会では、2会派が大綱質疑を行いました。

議第2号、議第3号、議第4号
消費増税の先送りの影響は。また、民間保育園の保育士の環境はどう認識しているか。

問 国より平成27年4月に施行する方針に変わらぬと連絡があった。現在、保育士等処遇改善臨時特別事業が創設され、恒常的な保育士の処遇改善が図られるものと考えている。

議第5号
独自基準を設けた効果は。

問 独自基準を設けた効果は。

答 暴力団の排除規定や文書の保存年限などの独自基準を定め、サービス向上、不利益防止が図られる。

議第6号

問 地域包括支援センターに独自基準を設けた理由は。

答 省令で定めていない第1号被保険者6000人を超える地域包括支援センターが3カ所あるため、支援が十分行き届くように基準を設けた。

議第7号

問 吉ヶ平山荘の取り扱いは。近年野生動物の出没が頻繁で、キャンプ場の安全性はどうか。

答 吉ヶ平山荘は、避難小屋の機能を含む山小屋。安全対策として注意喚起看板の設置や衛星電話を設置する予定。

議第12号

問 三条市勤労福祉会館の跡地利用は。

答 解体後、利用方法がなければ売却の方向で検討していく。

議第13号

問 指定管理者の指定に公募の選択肢はなかったのか。

答 経験、実績、施設の特長や機能を生かした運営ができると判断し、非公募とした。

議第16号

問 雨水貯留槽設置の減災効果とその効果の範囲はどうか。

答 下須頃、須頃二丁目地区の国道8号と信濃川堤防間において、30センチの湛水深の低減が図られる見込み。

議第19号

問 ふるさと三条応援寄附金は目標に達しているか。

答 11月までの累計で3146件、4826万3100円と1ヶ月300件、300万円の目標を大きく上回っている。

問 しかけ絵本日本一プロジェクトについて、クラウドファンディングと蔵書数の目標達成は可能か。

答 合計で59万7000円の申し込みがあった。現在の寄付の合計は99万円となり、新規購入と合わせ約780冊となる見込み。

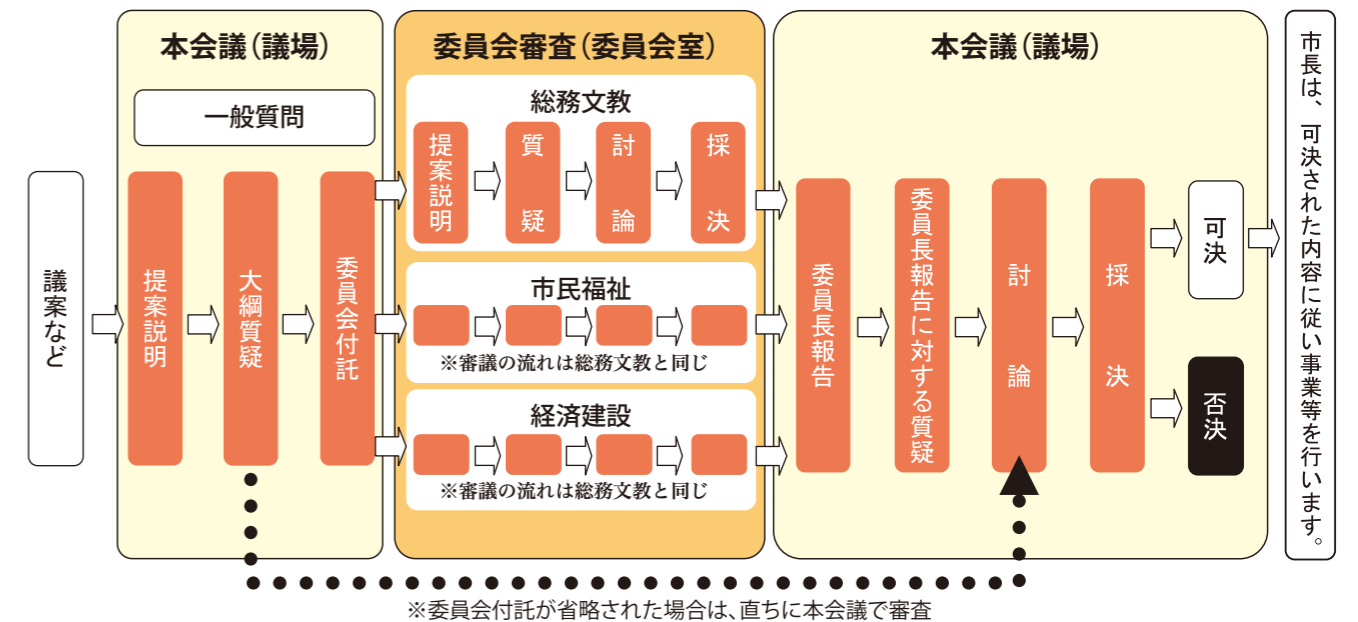
問 新最終処分場の調査費用が計上された。この調査結果によっては用地の再検討はあるのか。

答 現地の平面や縦断の状況を詳細に把握し、建設の基礎資料とする。地質調査の結果に基づき、建物の配置や構造について判断したい。



条例や予算が決まるまで

(一般的な定例会の議案審査の流れ)



常任委員会

市の行う事務に関する調査や議案の審査などを効率的、専門的に行うため、議会が設置するもので、三条市は3つあり、議員はいずれかに所属しています。

議案は、本会議で直ちに決めるものもありますが、市政の範囲が広く、内容も複雑なため議案や請願を常任委員会に付託して、所管部局から詳しい説明を受け、質疑を行って委員会として結論を出し、本会議に報告します。

総務文教

総務部、教育委員会、消防本部ほか

市民福祉

市民部、福祉保健部

経済建設

経済部、建設部、農業委員会

市政の
?を
問いました

一般質問

ダイジェスト

【議員と行政のQ&A】

TPPについて

問 米価が下落している。TPPに参加し関税が撤廃されれば外国の米が輸入され、日本農業は壊滅的打撃を受ける。

答 農業基盤の確保を図った上で、TPP交渉を進めていくべき。



カントリーエレベーター

農業の担い手確保を

問 農業の担い手に対する国の支援がなくなった。市が支援し、担い手の確保をすべきと思うが。

答 国がしっかりとした農業政策を打ち出すことが必要。

小規模企業振興条例の制定を

問 三条市は小規模事業所が減少し続けている。小規模企業振興条例を制定し支援していくべきだ。

答 条例は制定しないが、具体的な小規模企業支援策をしっかりと展開していく。

小規模工事希望者登録制度の創設を

問 自治体の小規模な修繕や工事について、小規模な建設関連業者の中

かんきょう庵について

問 かんきょう庵を夜間も使えるようにしたらどうか。

答 貸し館利用よりもイベントや講習など環境啓発を主としている。時間延長は今後検討したい。

看護系高等教育機関の設置について

問 開校時期や設置主体はどのようになっているか。

答 開校は、大崎中学校の移転後にリニューアルする予定のため、早くても平成30年4月と考える。設置主体は今後検討したい。

問 設立には幾つかの課題がある。問い合わせ窓口として準備室を立ち上げてはどうか。

答 開校までに専任教員、実習病院の確保、カリキュラムの検討などさまざまな事務が発生する。専門組

市展について

織を27年4月に立ち上げるべく準備に入っている。



三条市美術展

問 合併10年を迎えた今年の市展だったが、応募総数では昨年より減少した。どのように評価するか。

答 市展賞と同格の第10回記念展賞を各部門に設けるなど工夫を凝らし、3200点の応募で来場者3300人となった。

子育て支援について

問 妊娠時および出産後からの支援を充実してはどうか。

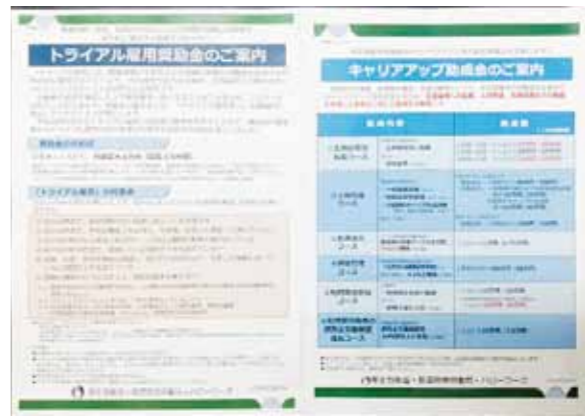
答 妊娠、出産、育児への不安を感じる時期に適切な助言や連携を保つことは重要。リスクがより高い

問 ケースについて早期からの支援の充実を図る必要がある。

問 病児・病後児への取り組みはどうか。

答 平成28年4月開始で準備を進めている。

地方創生の取り組みについて



若者支援のパンフレット

問 キーワードは人である。地域おこし協力隊は、若者の定住促進の有効策として取り組みを進めてはどうか。

答 27年度から下田地域で取り組んでいきたいと考えている。関係する地域や団体にも協力していただいで進めたい。

防災行政無線による災害時の緊急対応について

問 暴風雨時無線が聞こえない。スピーカーを増設してはどうか。

答 市内の民有林は全て水源地域に指定された。市は個別の取引を規制する権限を持っていない。

問 増設するとハウリングを起し聞こえづらくなる懸念がある。複数の情報伝達手段の活用を図り、自意識の啓発に努めたい。

冬期間における小中学生の登下校時の除雪対策について

問 安全対策と関係機関との連携は。除雪の制度運用を検討したい。

新最終処分場について

問 地元4自治会説明会の感想と見解は。

答 おおむね冷静に受け止めていただいた。ご意見にしっかりと応えたい。

公共施設の維持管理について

問 藤沢市で公共施設の視察をした。

問 若者支援のキャリアアップ助成金の活用で、雇用環境の整備を推進してはどうか。

答 若者から地元に住み続けてもらう取り組みは大切である。制度の活用や周知に取り組んでいる。

代読、代筆の充実について

問 改正障害者支援法で読み書きサービスが明記された。今後、必要性は高まるが三条市の状況やニーズはどうか。

答 視覚障がい者の場合、支援法に基づくサービスは12人が利用している。在宅介護を利用している人や活字読み上げ装置の利用もある。支援団体と連携を図りながら代読、代筆の充実を検討したい。

がん検診について

問 胃がん撲滅のためのリスク検診を導入してはどうか。

答 ピロリ菌の有無を血液検査で確認する胃がんリスク検診などは、厚生労働省で研究、検討が行われている。今後とも動向を注視していく。

小学校の統廃合について

問 市民の意見を反映する仕組みと建物を一元管理する必要性を感じた。現状はどうか。

答 建物の所管課が対応している。27年度以降、三条市版の公共施設等総合管理計画を策定する。

問 所信表明で小学校の統廃合を表明した。どう進めるのか。

答 現状で統廃合は不可避。地域の思いを考慮し、より丁寧なプロセスが必要。それぞれの検討段階で議論を重ねたい。

三条市の学校給食について

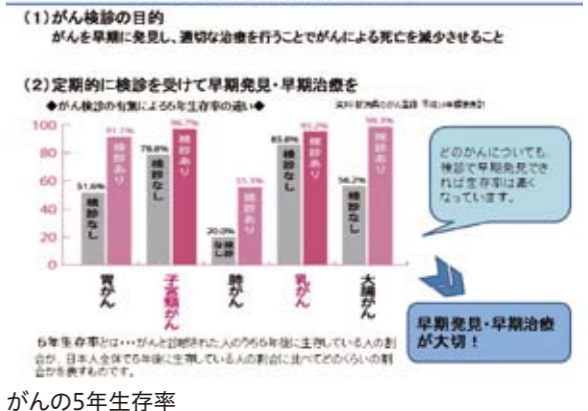
問 12月に入り、煮干し粉が大量に入ったお汁が出ている。「だし」を「食べさせる」ことに違和感がある。

答 栄養士と研究を重ね、おいしい給食を提供していく。煮干し粉のみで牛乳の代替えをしているわけではない。

国保税について

問 値上げ前の22年度と比べ約2億9000万円も国保税は上がった。25年度末の累積赤字約3億3000万円を全て被保険者が負担するのは無理だ。

5 がんの早期発見・早期治療のために



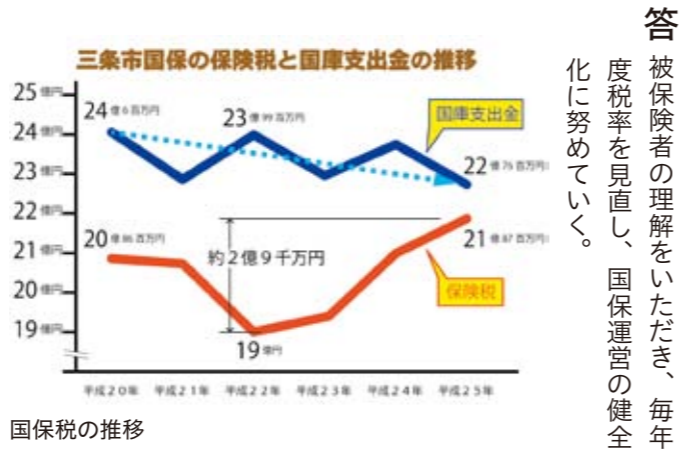
ものづくり大学すなわち「金属加工や機械工学に関する実践的技能に長けた人材を育成する大学」について

問 「ものづくり大学」と中小企業大学三条校とで、運営や施設利用、また講座や講師の連携などができないか？

答 さらに言えば中小企業大学三条校を「ものづくり大学」に転換できないか？

問 密接不可分な関係の中で連携、共存関係になっていくのではないか。

0万円を全て被保険者が賄うのは無理だ。



農地関係の災害復旧工事について

問 26年度発生した災害で40万円以上の箇所はあったのか。また、分担金の基準はどうなっているのか。

答 40万円以上の被災箇所はない。分担金は、補助工事では補助等を除いた残りを地元と市で2分の1ずつの負担。単独工事では農林土木事業として、農地は50%ずつ、農業用施設は市65%、受益者35%の負担とする。

保内地区交流拠点施設へのアクセス道路と国道403号三條北バイパスの計画について

問 平成28年4月供用開始予定の保内地区交流拠点施設へお客さまを誘導する重要なルートと位置付けられる国道403号三條北バイパスの計画を強力に推進すべきでないか？

答 今までと次元の違う形で整備促進を図る取り組みをしていく。

合併10年目、新市建設計画登載事業等の観光整備について

問 既存施設との有機的連携の促進や今後の吉ヶ平周辺整備と吉ヶ平自然体感の郷の指定管理者は。

答 周辺施設と連携し、観光資源の有効活用を努めたい。指定管理者は、吉ヶ平の関係者と協議を重ね、オープン後の管理運営をお願いしたい。

外資による山林買収防止と水資源保全について

問 県の見解、市の水源地域指定や独自の条例はどうか。



上谷地地内の災害現場

水道給水管の漏水修理について

問 宅地内等の水道漏水修理は、お客さま負担となっている。メーターまで、市の負担で直せないか。

答 有収率にも影響があるので、他市を参考にしながら検討したい。



給水管の漏水修理

市職員の療養休暇について

問 精神疾患による療養休暇取得者が増えている。原因と対策は。

答 時間外勤務との因果関係はない。業務に起因するものは対応が必要。全職員が定年まで元気で業務に精励することを願っている。

分限特例条項の制定について

問 職員が業務や交通事故等で禁錮刑になると免職となってしまう。地方公務員法第28条第4項に基づく特例条項の制定が必要ではないか。

答 他市の状況は全く関知せず。特例条項の制定は考えていない。

ものづくり大学は地域密着型

問 市内企業の求める異なる即戦力に対応した学部、学科の創設をどう行っていくのか。

答 就業体験や大学における熟練技能者の指導など地元企業との連携を強化することで、卒業生の就職にもつながり転出抑制となる。1学部、1学科で1学年50名程度の小規模な大学を検討したい。

給食費、地場産野菜にも市の補助を！

問 27年度給食費は年間4700円もの値上げとなるが、給食材料となる地場産野菜への補助を考えるとどうか。

答 現在、野菜については生産農家に対し、一般小売価格より高く買い、学校給食会には一般小売価格よりも安く提供する仕組みになっている。今後も地場産野菜を推進していきたい。

3歳未満児保育の充実を！

問 3歳未満児の保育希望は年々増加し待機者も出ている。早急な保育環境整備が必要ではないか。

答 今後、需要量を想定し、それに対応した提供体制や確保内容を検討していく。

兄弟同じ保育所に入れて！

問 学区内の子どもは学区内の保育所に、兄弟は同じ保育所に入所できるように優先できないか。

答 定員を超える希望があった場合、入所選考基準により選定している。

公共施設再配置に住民の声を！

問 公共施設の複合化・集約化、規模の見直し等の計画策定のプロセスでは、住民合意が重要ではないか。

答 計画の素案を地域審議会で協議していただくなど、地域単位で住民代表の皆さまから意見を聞きたい。

都会っ子、三条に来てえ〜



「子ども農山漁村交流プロジェクト」
「複数省庁の連携プロジェクト」

問 都市の子供たちの滞在型自然体験活動の場として受け入れ準備を整え、三条の子供たちがとも宿泊体験する取り組みをしてはどうか。

答 取り組みの推進を目指す国の法案が成立すれば、財政支援を含めた受け入れ体制ができ、それがものづくり体験にまで広がれば、かな

公共施設に学習スペースを！

問 公民館や公共施設に学習室を整備してはどうか。

答 公民館の稼働率は高く、整備は困難。

問 図書館2階の学習室を仕切り、プライベートを保てる学習室にしてはどうか。

答 あえてそういうやり方でないやり方を採用している。



新潟市のほんぼ一と中央図書館

ものづくり大学について

問 1学部、1学科50名を予定しているが、商工会議所等から科の増設要望があった場合検討するのか。

り現実的となる。真剣に検討したい。受け入れる中で三条の子供たちの主体性が養われていく。関係部局で調整し、基盤を整えば交流を考えたい。

さきの9月定例会の質問事項のその後の対応について

問 奨学金制度の拡大について。

答 今後設立予定の学校等で、専門組織の中で検討していきたい。

問 漢字検定の拡充について。

答 新たな漢字検定の方向性や実現に向けた課題の整理を現在行っている。

三条市の土地利用計画について

問 三条市の内水対策について、今回新通川の改修に620メートル分の事業費が残りの見通しはどうか。

答 27年度の予算の中で県としても事業を実施したい方向なので、引き続き要望していきたい。

問 農地利用計画について、迅速な宅地への転用はできないのか。

答 国県の関与を全廃すべく地方六団体として、強く国に要望しているところである。

答 今後、検討する中で産業界等の要望によっては柔軟に考えていく。

問 ものづくり大学の設置、誘致場所として、旧南小学校跡地でもものづくり拠点施設の整備が進められているが、ここに一本化する取り組みが必要ではないか。

答 ものづくり拠点施設は、創業や起業を目指す人を支援する施設である。中小企業大学校三条校や燕三条ものづくり大学とは、できる限り連携を図っていきたい。

持続可能な維持管理について

問 包括的民間委託の具体的な構想は。

答 委託内容は、日常のパトロールや道路、橋梁等の簡易な補修、除雪作業等を想定しており、一定区域の道路や公園などの維持管理を包括して、地域の実情に精通した企業等に複数年委託することを考えている。

問 建設技術者の育成について。

答 今後不足が予想される除雪業務に必要な大型特殊、また各種施工管理技術士免許の取得支援を検討している。



内水対策・新通川の現状

三条市の産業振興策について

問 企業誘致についての現状はどうか。

答 これまでは積極的に動いてこなかったが、今後は新たな展開をしていきたい。

問 市内の商工業者が加入している三条商工会議所に対する支援策はどうか。

答 商工業活性化事業費は、平成26年度約1億960万円と大幅に増額している。



建設技術者の育成

学校給食の牛乳問題

問 行政と教育委員会の関係および政治的中立性について。

答 民意を代表する立場の首長と教育行政を推進する立場の教育委員会は、全く切り離されたものではなく密接不可分な関係にある。

問 政治的中立性は？

答 政治的中立性は担保されていると思う。

問 教育長は市長にNOと言う場面はあるのか？

答 議論の過程においては、場合によっては教育長からこの件に関し

【委員会審査レポート】

各委員会に付託された議案等について、議会最終日に委員長が審査経過と結果を報告します。



ではこうしないとうまくいかないという調整も行われている。

問 教育長と教育委員会（教育委員長）の関係および責任と権限、そして地位について。

答 教育委員長を除く教育委員の中から、教育委員会によって任命された教育長が教育委員会事務局の指揮監督の下に事務局を統括して執行する仕組みとなっている。

問 学校給食に関わる責任と権限について。

答 学校給食に関することについての責任は、あくまでも教育委員会にある。

問 給食運営委員会でNOの結論が出たら？

答 その内容について教育委員会に報告の上、協議がなされ、教育委員会としての意思決定がされる。最終的に決定するのは教育委員会。

所信表明について

問 広域道路網や都市計画道路の整備は、今後どのように進めるのか。

答 幹線道路として都市づくりを支える重要なものと考えている。とりわけ国道403号北バイパスの整備については、これまでと次元の

違う形で要望活動を展開していかなければならないと考えている。

問 包括的民間委託制度導入の狙いは。

答 一定区域の道路公園などの維持管理を包括して、公募等により地域の実情に精通した企業体等に複数年委託することで、経費の削減や計画的な設備投資の促進により地元業者の経営の改善および安定化が図られる。

平成27年度予算編成について

問 新年度の予算編成の基本的な考え方は。

答 平成27年度の予算編成については、既存事業の見直しを徹底して行い、限られた財源を次期総合計画に基づいた施策に重点的に配分すべく、予算要求において経常経費等に対してマイナスシーリングを設定するなど歳出抑制を図りつつ、徹底した事業の選択と集中に取り組んでいきたい。

看護系高等教育機関の新設について

問 平成30年4月を目標に設置が予定されている看護系高等教育機関に

おいて、正看護師養成コース、准看護師から正看護師への養成コース、准看護師養成コースの3つのコースを設けると示されたが、准看護師養成コースについては、昨今の医療技術の高度化、救急患者や入院患者に対する医療行為の自律性が必要とされる中、法的に制限のある准看護師を養成することは必要であるのか。

また、全国的にも准看護師養成学校は減少しており、正看護師の養成にシフトしてきている。准看護師の資格を取得後、正看護師の資格の取得を希望している方がとても多いという統計がでている。

こういった現状を踏まえ、市として准看護師養成コースの是非についてはどのように考えるか。

答 市としては、来年4月に専門組織の立ち上げを予定しているため、准看護師の養成コースの是非についても、有識者の方々と十分に意見交換を進めながら検討していきたい。



— 白鳥の郷公園 —

総務文教常任委員会

笹川信子 委員長

児童クラブの開設日数は国の基準以上 他市町村に比べても高水準

議第3号三条市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について、小規模保育事業B型に従事する職員は、保育に当たる半数以上が保育士資格を有する者であれば、残りは保育経験がなくても市長の行う研修を修了した者であればよく、比率については国の基準と同じに規定したとのことでした。

議第4号三条市放課後健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について、今ある児童クラブは条例案の設備の基準を上回っていないところがあるため、現在拡充整備している。開設は午前8時から午後7時までで、日曜日、祝日、年末年始が休みとなっている。学校の長期休業中は、希望すれば午前7時から開設しているので国の開設基準を上回っており、近隣市町村と比べても高い水準であるとのことでした。



市民福祉常任委員会

岡田竜一 委員長

居心地の良い空間へ！ かんきょう庵をデザインします

議第6号三条市地域包括支援センターの人員等に関する基準を定める条例の制定について、国

の省令に基づく基準では、第1号保険者が6000人を超える圏域についての人員配置基準が明確でなかったため、市として6000人を超える圏域の後期高齢者人口に応じた人員配置基準を定めるもの。また、圏域内で後期高齢者人口が一定数を超えた場合には、職員を増やす反面、圏域の見直しも検討しなくてはならないと考えているとのことでした。

議第14号三条市民プールの指定管理者の指定について、老朽化している施設ではあるが、指定管理者からも修繕の要望をいただいているため、現場を確認し、先のことも考えながら修繕させてもらいたいとのことでした。

議第19号平成26年度三条市一般会計補正予算の衛生費について、かんきょう庵では、開館以来環境啓発を行ってきたが、価値観の押し付けのようところがあつたため、また来たいと思ってもらえるような施設としてどうあればよいかを検討した結果、居心地の良い空間づくりという新しい環境啓発にたどり着いたとのことでした。



経済建設常任委員会

山田富義 委員長

吉ヶ平自然体感の郷への アクセス道路に安全対策を

議第7号三条市吉ヶ平自然体感の郷条例の制定では、自動車の擦れ違いが困難な場所が多いアクセス道路の安全対策について、現状でも登山客等が往来していることから、最低限の安全は確保

されていると認識しているが、当該施設の利用者による通行量の増加が見込まれるため、対策について道路管理者である県と調整中であるとのことでした。

なお、27年6月の供用開始に向けたスケジュールについては、調整を始めたばかりなので、具体的には決まっていないが、工事は春からになると考えているとのことでした。

議第16号須頃郷地区内水対策整備（須頃郷第3号公園）工事請負契約の締結では、契約金額の割に工期が3月末までと短いことについて、年度内の完成は非常に厳しいと感じており、3月定例会で予算の繰り越しをお願いしなければならぬと考えているとのことでした。

なお、調整池の機能については平成27年の出水期までに完成させ、その後、地下に整備された調整池の上に公園を復旧させたいとのことでした。



議会運営委員会

佐藤和雄 委員長

議会の議決権を拡大

議第1号三条市議会の議決に付すべき事件を定める条例の制定について、三条市総合計画の策定に当たり、その基本構想を地方自治法第96条第2項の規定に基づき三条市議会の議決に付すべき事件としたいことから、条例を制定したいとのことでした。



総務文教常任委員会

11月11日～13日

◎笹川信子、◎小林 誠、佐藤和雄、下村喜作、阿部銀次郎、杉井 旬、横山一雄、長橋一弘

済生会病院と連携

◎病児・病後児保育事業について(群馬県前橋市)

前橋市では、市内の認定保育所を利用している全保護者を対象にアンケート調査を行った結果、保育サービスの要望として最も高かったものが病児・病後児保育であったため、実施に向け検討を行う中で済生会前橋病院から実施してもらえることとなり、平成25年11月に同病院敷地内に病児・病後児保育施設「おひさまの家」を開設しまし



前橋市 病児・病後児保育施設

た。1日の定員は4人で、生後8週間からおおむね9歳までの市内の児童または市内に勤務先を有する保護者の児童を対象に受け入れを行い、事業に取り組んでいました。

小学校区ごとに防災会連絡協議会を設置

◎防災コミュニケーションの育成と推進の取り組みについて(愛知県豊橋市)

豊橋市では、災害時の共助、自助の重要性と必要性を訴えている中、地域により温度差があり、自主防災組織を充分機能させる地域の防災リーダー育成のため、自主防災リーダー養成講座を平成20年度から開催し、自主防災リーダー修了者に対するフォローアップ講座、自主防災活動推進大会の開催、防災士の受験者に受講料の補助を行うなど人材育成と市民の意識改革に取り組むとともに、小学校区ごとに校区防災会連絡協議会を設置し、自治会、消防団、小中学校PTAなど各種団体が参加して、普段から協議を行うなど防災コミュニ

市街地の活性化等に寄与していました。

まとめ

今回の視察で各市の行っている取り組みを学び、ひとつの施策に対する関連事業の多さに驚きました。財政状況や市民性、地勢的環境を考慮し、当局においても参考にできるところは取り入れるべく努力をし、人口減少、高齢化社会を迎えるこれからの三条市の発展に結び付けていきたいと思いました。



富山市 富山市役所

経済建設常任委員会

11月5日～7日

◎山田富義、◎名古屋豊、武石栄二、野崎久雄、酒井 健、坂井良永、高坂登志郎、伊藤得三

対策完了地区では浸水被害をほぼ解消

◎静岡市浸水対策推進プランについて(静岡県静岡市)

静岡市では、平成15年、16年に発生した集中豪雨による大規模浸水被害を受け、浸水対策を計画的かつ重点的に推進するため、平成18年2月に静岡市

ニティーの推進を図っていました。

市民目線による施設の再整備

◎公共施設の再整備および有効活用の取り組みについて(神奈川県藤沢市)

藤沢市では、老朽化施設の計画的な再整備や長期的視点からの改修計画、維持管理計画など市民目線による検証を行うため、平成20年11月に基礎資料としての公共施設マネジメント白書を作成しました。その後、その白書を基に公共施設再整備基本方針を策定し、施設の建て替えの際は機能集約と複合

化を原則とし、廃止も含めて地域住民による地域自治の意思決定機関として郷土づくり推進会議の体制が作られていました。

まとめ

病児・病後児保育施設については、女性の社会進出の必要性が声高に言われる時代にあつて、子育て支援は継続的、多面的な支援が必要であることから、三条市においても病児・病後児保育施設の整備が必要であると感じました。

市民福祉常任委員会

11月5日～7日

◎岡田竜一、◎武藤元美、久住久俊、熊倉 均、森山 昭、河原井拓也、佐藤宗司、野崎正志

市全体で取り組みを

◎ごみの減量について(愛知県安城市)

人口増加の比例以上に、ごみの排出量が増加し続けたことで焼却灰の処理や埋め立て処分場の確保が問題であった。このため、ごみ減量推進市民活動支援プログラムや全面カラー印刷の家庭ごみと資源の分け方・出し方早わかりブックなどを作り、市民に対する地

道な啓発と市民団体が主体となったごみ減量活動により、当初の目標であったごみ減量20%を達成した今、新たにごみ減量30%を掲げて努力されています。

生涯を楽しく過ごす

◎高齢者の生きがいづくりについて(愛知県一宮市)

GPSを活用した徘徊高齢者家族支

浸水対策推進プランを策定。河川・水道の排水施設増強、雨水貯留浸透施設の設定等のハード、内水ハザードマップ策定等のソフトという両面から総合的な対策を講じるにより、視察直前の台風18号上陸時には対策完了地区での浸水被害がほぼ解消されているなどの成果を上げていました。

空き町家の所有者と活用希望者を縁結び

◎歴史的建造物を生かしたまちづくりおよび町家再生ネットワーク事業について(滋賀県近江八幡市)



近江八幡市 町屋が建ち並ぶ旧市街地

近江八幡市は、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている旧市街地で増えつつある空き町家の所有者と活用希望者とを結びつけるため、平成21年に官民協働によるおうみはちまん町家再生ネットワークを設立。ネットワークが物件情報を集約し、情報発信、仲介等を行うことにより、これまでに6軒が住居兼店舗として活用されていました。

植木産地として名高い安行地区を擁する川口市は、花のオリンピックといわれる国際園芸博覧会への出品、都心における展示即売の実施等のさまざまな事業を行っています。



川口市 川口緑化センター樹里安

まとめ

内水対策については、当市でも喫緊の課題として対策が進められています。静岡市で実施されている校庭での一時貯留や各家庭における貯留浸透施設設置への補助等の手法は参考にできると感じました。

また、高い技術と伝統を守るだけではなく、海外まで視野を広げ、その土地、その時代の消費者が求めるものを提供していこうという川口市の積極的な姿勢は、他の分野においても共通し必要なものだと感じました。

◎植木産業の振興および川口緑化センター樹里安について(埼玉県川口市)

議会日誌

10月

- 1日 自民クラブ行政視察 ～3日
(北海道滝川市、富良野市、岩見沢市)
- 2日 長野県浅麓環境施設組合議会視察来条
- 6日 自由クラブ行政視察 ～8日
(愛知県田原市、刈谷市)
新政クラブ行政視察 ～8日
(千葉県浦安市、東京都昭島市、調布市)
- 7日 2014 スタディーツアー [日本共産党議員団] ～8日
(栃木県那須塩原市、福島県いわき市)
東京都三鷹市議会視察来条
- 8日 群馬県太田市議会視察来条
- 9日 議会報編集委員会
福岡県中間市議会視察来条
- 10日 北海道江別市議会視察来条
- 14日 議会報編集委員会
- 15日 東京都西多摩郡日の出町議会視察来条
- 16日 総務文教常任委員協議会
埼玉県鴻巣市議会視察来条
- 17日 神奈川県相模原市議会視察来条
- 20日 山梨県上野原市議会視察来条
- 21日 岡山県倉敷市議会視察来条
- 22日 山梨県山梨市議会視察来条
- 23日 東京都秋川流域市町村議会正副議長会視察来条
- 24日 埼玉県ふじみ野市議会視察来条
- 27日 兵庫県篠山市議会視察来条
- 28日 河川改修・国道整備促進特別委員会
山梨県甲府市議会視察来条
- 29日 栃木県益子町議会視察来条

11月

- 4日 埼玉県蕨市議会視察来条
- 5日 市民福祉常任委員会行政視察～7日(愛知県安城市、一宮市、富山県富山市)
経済建設常任委員会行政視察～7日
(静岡県静岡市、滋賀県近江八幡市、埼玉県川口市)
- 静岡県藤枝市議会視察来条
- 10日 神奈川県大和市議会視察来条
- 11日 総務文教常任委員会行政視察～13日
(群馬県前橋市、愛知県豊橋市、神奈川県藤沢市)
- 福岡県久留米市議会視察来条
- 12日 秋田県由利本荘市議会視察来条
- 13日 市民福祉常任委員協議会
熊本県八代市議会視察来条
- 14日 中越地区市議会議長会
岩手県八幡平市議会視察来条
- 17日 市町村議会議員セミナー [公明党議員団] ～18日(滋賀県大津市)
福島県伊達郡国見町議会視察来条 ～18日
- 18日 経済建設常任委員協議会
- 19日 総務文教常任委員協議会
- 兵庫県三田市議会視察来条
- 20日 愛知県半田市議会視察来条
- 21日 岩手県一関地区広域行政組合議会視察来条
- 25日 各派代表者会議
議案概要説明会
議会運営委員会
- 27日 総務文教常任委員協議会

12月

- 1日 議会運営委員会
- 2日 本会議 [提案説明]
- 3日 本会議 [大綱質疑～委員会付託、一般質問]
- 4日 本会議 [一般質問]
- 5日 本会議 [一般質問]
- 8日 本会議 [一般質問]
議会報編集委員会
- 9日 市民福祉常任委員会
市民福祉常任委員協議会
- 10日 経済建設常任委員会
経済建設常任委員協議会
- 11日 総務文教常任委員会
総務文教常任委員協議会
- 12日 議会運営委員会
- 15日 各派代表者会議
議会運営委員会
- 16日 本会議 [委員長報告～採決]

3月定例会日程

- 2日(月) 本会議
[施政方針演説、提案説明]
- 4日(水) 本会議
[大綱質疑～委員会付託]
- 5日(木) 本会議 [一般質問]
- 6日(金) 本会議 [一般質問]
- 9日(月) 本会議 [一般質問]
- 10日(火) 本会議 [一般質問]
- 11日(水) 市民福祉常任委員会
- 12日(木) 市民福祉常任委員会
- 13日(金) 経済建設常任委員会
- 16日(月) 経済建設常任委員会
- 17日(火) 総務文教常任委員会
- 18日(水) 総務文教常任委員会
- 23日(月) 本会議 [委員長報告～採決]

第1回臨時会が予定されています

今後8年間で三条市が目指すまちの姿とその実現に向けた基本方針「三条市総合計画基本構想」を審査するため、次の日程で平成27年第1回臨時会が予定されています。

2月12日(木)	本会議 [提案説明]
13日(金)	本会議 [大綱質疑、特別委員会設置～特別委員会付託]
16日(月)	特別委員会
17日(火)	特別委員会
18日(水)	本会議 [委員長報告～採決]

編集後記

新年明けましておめでとうございます。
毎年行われているその年の世相を表す「今年の漢字」、平成26年の漢字は「税」でした。同年4月の増税等が主な理由とのこと。
平成25年は東京五輪誘致成功等の「輪」、平成23年は東日本大震災等自然災害における助け合いの「絆」など過去の「今年の漢字」を見てみると、当時の出来事が思い出されます。
また漢字といえば、やはり大漢和辞典の編纂という偉業を成し遂げられた、三条市が誇る諸橋轍次博士が真っ先に思い浮かびます。
改めて漢学の里諸橋轍次記念館にて、諸橋轍次博士の偉業と漢字に触れたいと思う今日この頃です。
本年も何とぞよろしく願いいたします。

【議会報編集委員会】

委員長 野崎正志
副委員長 坂井良永
野崎久雄 河原井拓也
山田富義 長橋一弘
伊藤得三

発行/三条市議会

編集/議会報編集委員会

責任者/議長 森山 昭

三条市議会事務局

電話:0256-34-5511(代)内線347

Fax:0256-33-8861

http://www.city.sanjo.niigata.jp/

E-mail:gikaj@city.sanjo.niigata.jp